

第91回

日本社会学会大会

第一日 2018年9月15日（土）

第二日 2018年9月16日（日）

——開催校——

甲南大学岡本キャンパス

大会次第

日 時	研究発表等	総会・役員会等	会 場
9月14日(金) 11:00～13:00 13:00～15:00 15:00～17:00 17:30～19:30		三役打ち合わせ 新理事会 現理事会 新現合同理事会 拡大評議員会	3号館7階第1会議室 3号館7階第3会議室 3号館7階第1会議室 3号館7階第1会議室 iCommons 食堂
9月15日(土) 8:30～ 9:30～12:30 12:40～13:20 13:30～14:40 14:40～14:50 15:00～18:00 18:30～20:00	受付開始 一般研究報告(1) 日本学術振興会事業(科研費・特別研究員)説明会 一般研究報告(2) 日韓ジョイントパネル 社会学教育委員会企画 ラウンドテーブル 招待講演	三役打ち合わせ 研究活動委員会 国際交流委員会(ランチミーティング) IJJS編集委員会 常任社会学評論編集委員会 研究情報支援委員会 財務委員会 社会学教育委員会 総会 学会奨励賞表彰式 懇親会	3号館1階 学生ホール 各教室 3号館6階 365 講義室 5号館5階 501 講義室 3号館3階 334 講義室 5号館5階 506 講義室 5号館5階 503 講義室 5号館5階 502 講義室 5号館5階 507 講義室 5号館5階 509 講義室 5号館5階 508 講義室 1号館3階 132 講義室 1号館3階 132 講義室 各教室 3号館2階 321 講義室 3号館6階 365 講義室 3号館4階 347 講義室 iCommons 食堂
9月16日(日) 8:30～ 9:30～12:30 10:30～13:00 12:40～13:20 13:20～14:00 14:00～17:30	受付開始 一般研究報告(3) 日台学術交流セッション 倫理委員会企画 テーマセッション ポスターセッション 台湾社会学会会長講演 シンポジウム1 シンポジウム2 シンポジウム3	拡大社会学評論編集委員会 シンポジウム1 打ち合わせ シンポジウム2 打ち合わせ シンポジウム3 打ち合わせ	3号館1階 学生ホール 各教室 3号館4階 346 講義室 3号館6階 364 講義室 3号館2階 324 講義室 3号館7階 第1会議室 5号館5階 501 講義室 5号館5階 502 講義室 5号館5階 503 講義室 1号館3階 131 講義室 1号館3階 131 講義室 1号館3階 132 講義室 1号館3階 133 講義室

大会次第・備考

1. 大会参加費	一般会員 4,500 円	大学院生・学生会員	2,500 円
懇親会費	一般 5,000 円	大学院生・学生	3,000 円
当日参加費	一般会員 6,000 円	大学院生・学生会員	4,000 円
当日参加費	一般非会員 7,000 円	大学院生・学生非会員	5,000 円

今大会は開催校の事情により、受付の人員・ブースに限りがあり、受付の混雑が予想されます。事前参加登録と参加費の事前振込みに、会員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

2. 受付は 3 号館 1 階学生ホールです。受付後、必ず名札をご着用くださいますようお願いいたします。大会の運営上、名札をご着用になっていない場合には会場係が確認をさせていただくことがあります。

3. 抜き刷り・報告資料交換コーナーを 3 号館 3 階 337 講義室（会員控室と同じ部屋です）に設置いたします。参加者は論文抜き刷りや報告資料の残部などを置くことができます。出版社などが書籍・雑誌を展示販売する書籍・雑誌コーナーは 3 号館 3 階 335・336 講義室に設置します。

4. 会員控室は 3 号館 3 階 337 講義室です。クロークは設置いたしません。大会本部は 3 号館 3 階 331 講義室となります。

5. 大会開催校にて託児サービスが実施されております。託児スペースはセキュリティのため、利用者のみにお知らせいたします。利用に際しては、事前にお申し込みのうえ、受付でお申し出ください。申し込み方法の詳細は学会ホームページをご覧ください。

6. 岡本キャンパスの西側に位置する複合施設「iCommons」の食堂にて、両日とも昼食の利用ができます（営業時間：11:00～14:00）。同施設内では、カフェの「PRONTO」ならびにコンビニも利用できます（営業時間：9:00～14:00）。

7. プログラムの修正・変更、報告要旨などについては学会ホームページの大会情報ページをご参照ください。
・日本社会学会 大会情報ページ：<http://www.gakkai.ne.jp/jss/2018/09/15000000.php>

8. 大会開催校の連絡先

第 91 回大会準備・実行委員会（委員長 栗田宣義）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8 丁目 9 番 1 号 甲南大学文学部社会学科

jss2018konankobe@gmail.com

会場までの交通案内

大会会場は、甲南大学岡本キャンパスです。阪急神戸本線（岡本駅）、JR 神戸線（摂津本山駅）が便利です。岡本駅（徒歩 12 分）もしくは摂津本山駅（徒歩 15 分）からのルートについては、岡本キャンパス・アクセスマップをご参照ください。なお、今年度、開催校は宿泊施設の案内や手配はいたしません。

岡本キャンパス・アクセスマップ <http://www.konan-u.ac.jp/access/#link1>

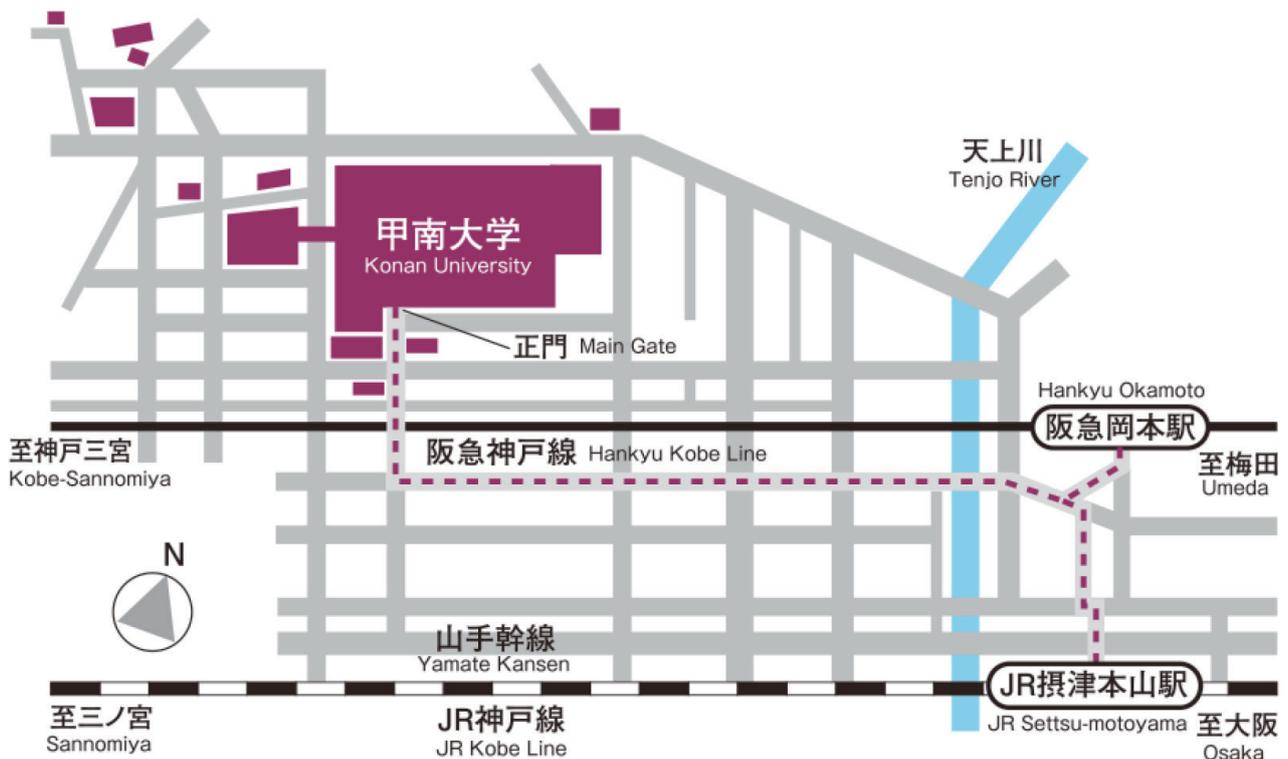
①新幹線でご到着の場合（JR「新神戸」、市営地下鉄、JR「三ノ宮」利用）
「新神戸」→〈市営地下鉄西神・山手線〉→「三宮」→〈徒歩〉→「三ノ宮」→〈JR 神戸線〉→「摂津本山」→〈徒歩〉→岡本キャンパス

②新幹線でご到着の場合（JR「新神戸」、市営地下鉄、阪急「神戸三宮」利用）
「新神戸」→〈市営地下鉄 西神・山手線〉→「三宮」→〈徒歩〉→「神戸三宮」→〈阪急神戸本線〉→「岡本」→〈徒歩〉→岡本キャンパス

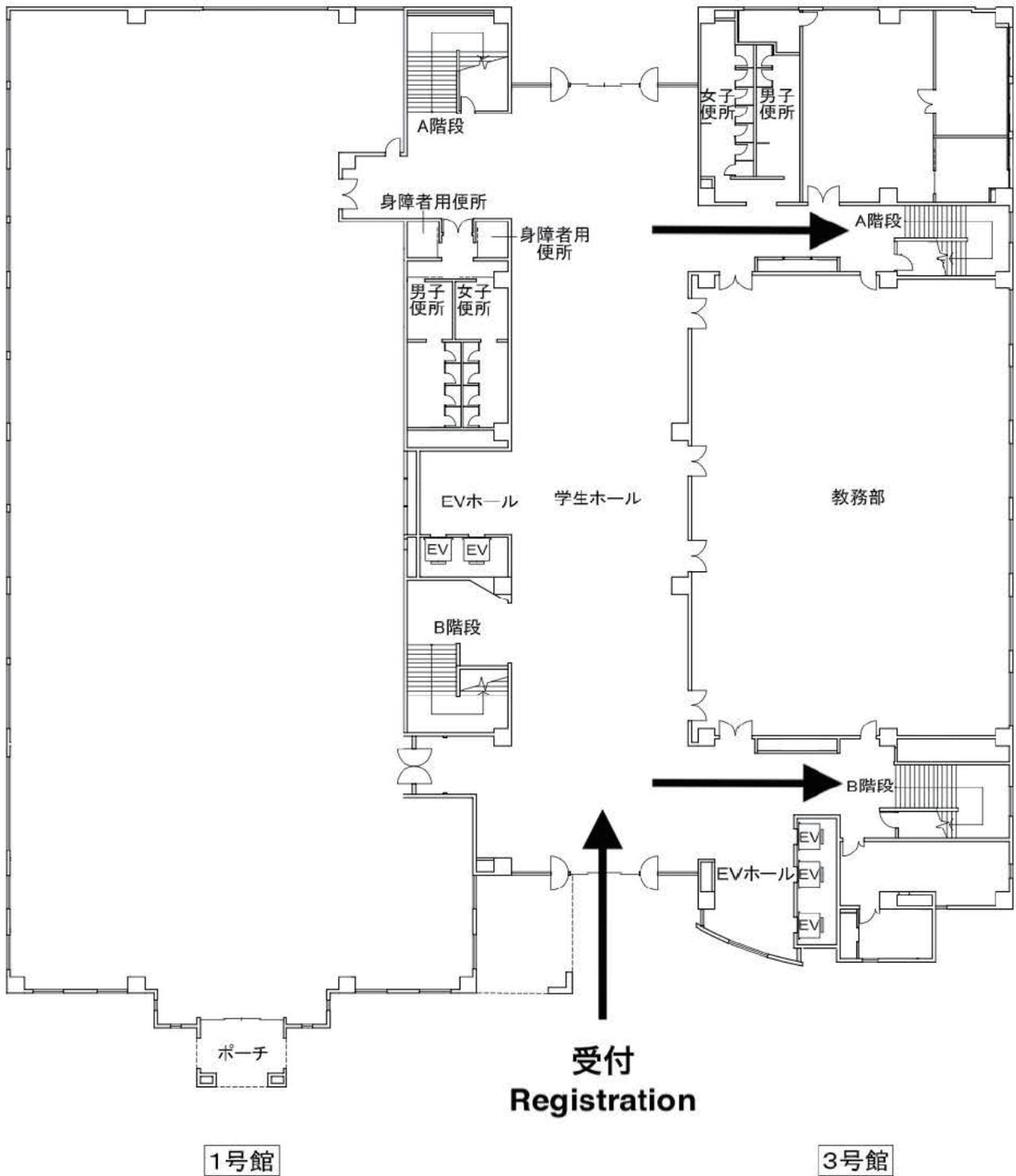
③新幹線でご到着の場合（JR「新大阪」利用）
「新大阪」→〈JR 京都線・神戸線 新快速または快速〉→「芦屋」→〈JR 神戸線 普通に乗換〉→〈JR 神戸線〉→「摂津本山」→〈徒歩〉→岡本キャンパス

④飛行機でご到着の場合〈「神戸空港」利用〉
「神戸空港」→〈神戸新交通ポートアイランド線〉→「三宮」… [①または②に同じ]

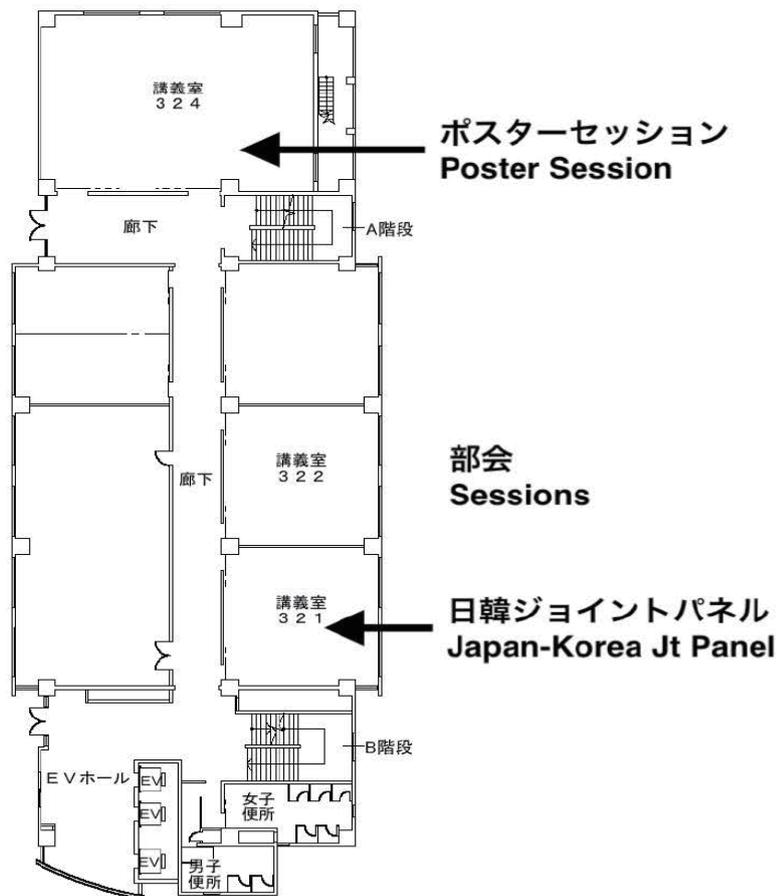
⑤飛行機でご到着の場合〈「関西国際空港」利用〉
「関西空港」→〈JR 関西空港線・阪和線・大阪環状線 快速または特急〉→「大阪」もしくは「新大阪」→〈JR 神戸線〉→「摂津本山」→〈徒歩〉→岡本キャンパス



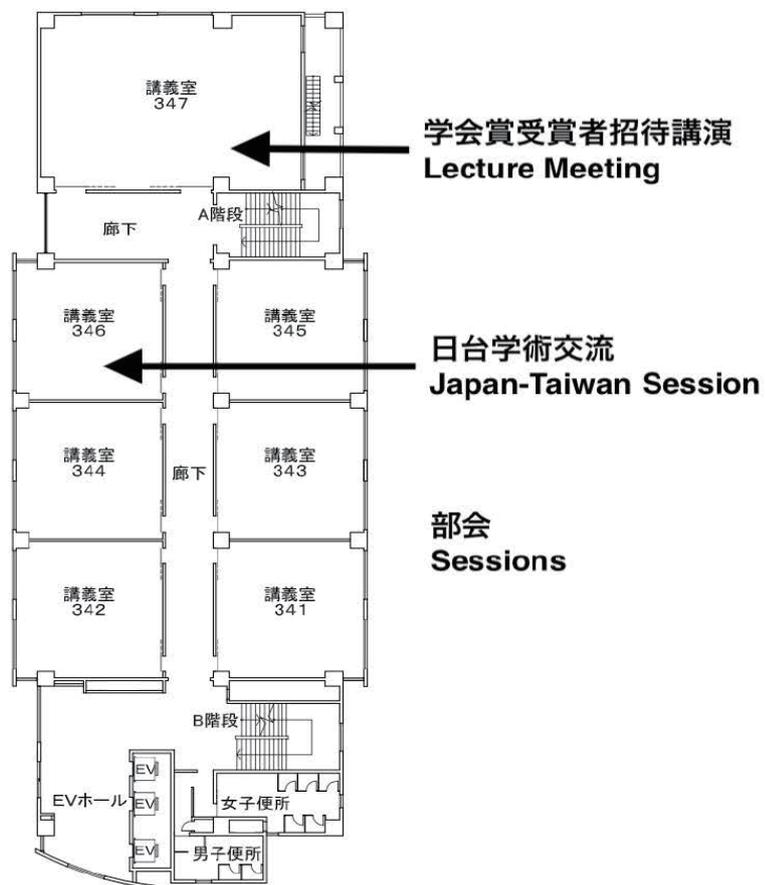
1号館・3号館 1階



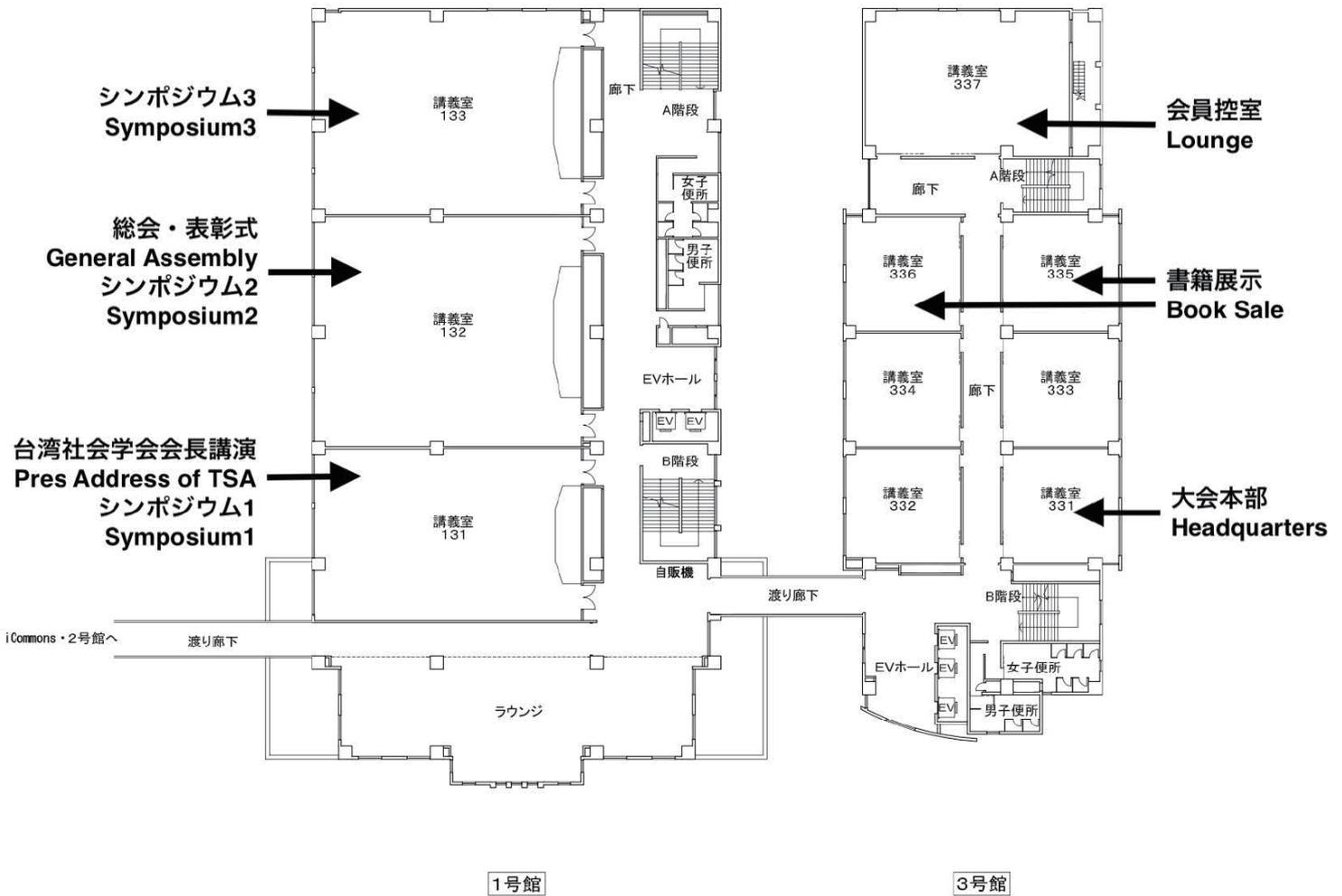
3号館2階



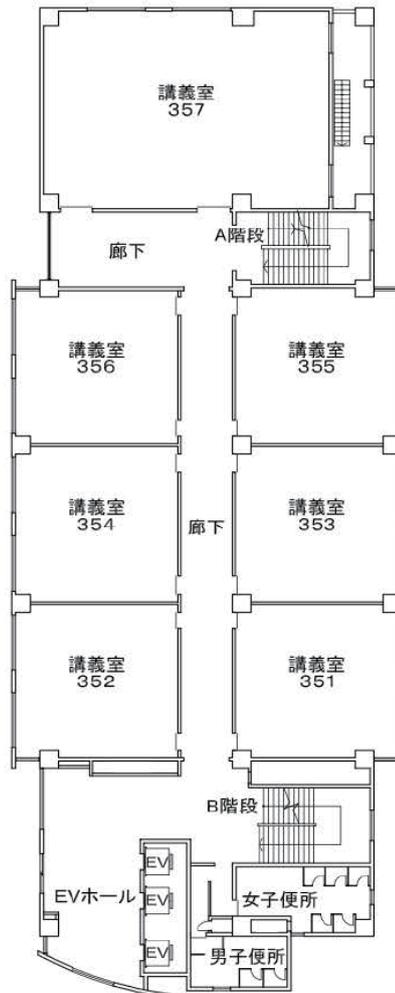
3号館4階



1号館・3号館 3階

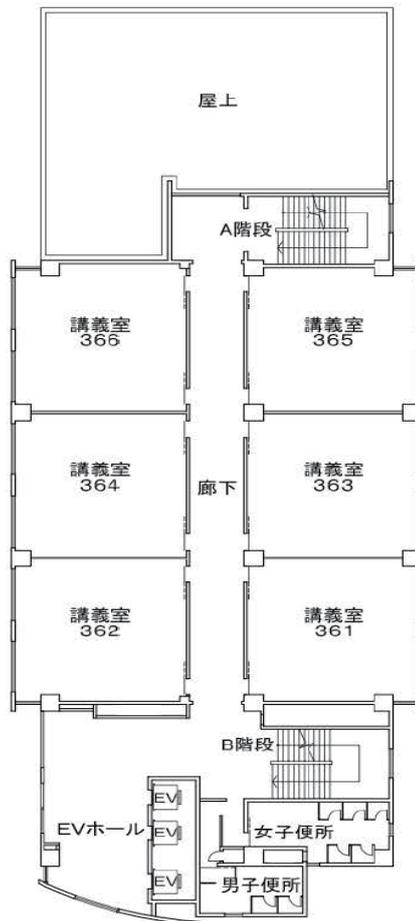


3号館5階



部会
Sessions

3号館6階



部会
Sessions

会場案内図

Venue Guide



研究報告をおこなううえでの注意事項

1. 共通事項

- 万が一報告をキャンセルする場合は、すみやかに学会事務局 (jss@sociology.gr.jp) と大会本部 (jss2018konankobe@gmail.com) の両方に連絡してください。
- タイトルと報告内容は申込時のものから変更できません。
- 部会終了時に配布資料が残った場合は、報告者が持ち帰ってください。会員控室 (3号館3階337講義室) に設けられた「抜き刷り・報告資料交換コーナー」に置いて配布することもできます。
- 大会会場における無断の撮影・録音行為はお控えください。
- 開催校でのコピーサービスはありません。

2. 自由報告 (一般研究報告 I)、テーマセッション (一般研究報告 III) での報告

- 部会開始時間の 5分前までに会場に集合して、司会者と打ちあわせをしてください。
- 報告時間は各報告 15分で、そのあとに質疑応答が数分あります。原則として、報告開始後10分で第一ベル、15分で第二ベルが鳴ります。
- 配布するレジュメや資料のコピーは、報告時に 最低50部、適宜余部を用意してください。追加資料を配布することもできます。残部は、途中参加者がとりやすい所に積むようにしてください。
- プロジェクタの利用をされる場合は、ご自身でパソコンをご持参ください。
- 会場では、プロジェクタとパソコン接続用ケーブル (Mini D-Sub15ピン) を利用できます。Apple社製パソコンを使用する場合には、専用の変換アダプタも各自でお持ちください。
- DVDに関しては、パソコンで再生できるかたちでご準備下さい。
- 部会開始 15分前に会場にお越しいただき、接続・動作の確認など機器の準備をしてくださるようお願いいたします。また、機器に不具合はつきものですので、万が一に備えて、機器なしでも滞りなく発表できるようにご自身でご準備ください。
- 特に、テーマセッション、研究チームでのご報告のような場合には、円滑な進行を図る意味でも、事前に報告者間で連絡調整をしてくださいますようお願いいたします。
- その他部会の進行については、司会者の指示にしたがってください。

3. ポスターセッション (一般研究報告 II) での報告

- ポスターセッションの会場は、3号館2階324講義室です。
- 部会開始時間の 10分前までに会場に集合して、監督者と打ちあわせをしてください。
- ポスターの掲示スペースは、幅90cm、高さ120cm程度です (A0判が入ります)。
- ポスターの掲示場所は、プログラムに基づいて割りふられています。
- 報告時間は2時間30分です。時間中は基本的にポスターの前において、質疑応答を行ってください。やむを得ない事情でポスターから長時間離れる場合は、かならず監督者にその旨伝えてください。無断で長時間不在の場合、報告が取り止めとされることがあります。
- 資料を配布することもできます (最低50部用意することを強く推奨します)。
- その他部会の進行については、監督者の指示にしたがってください。

部会一覧

教室番号	9月15日(土)		9月16日(日)
	9:30～12:30	15:00～18:00	9:30～12:30
	一般研究報告(1)	一般研究報告(2)	一般研究報告(3)
【3号館】 321	研活テーマセッション1 社会学にとって<沖縄>とは何か	日韓ジョイントパネル	
322	研活テーマセッション2 国家神道なるものと戦後の日本社会	テーマセッション2 進化論と生物学と社会学	
324			ポスターセッション(10時30分～13時00分)
341	災害(1)	テーマセッション3 原子力と放射能をめぐる分断の実態と共存への道	災害(2)
342	社会運動(1)	テーマセッション4 社会思想・理論と紛争・運動・デモ	社会運動(2)★
343	子ども・青年・中高年(1)	研活テーマセッション3 トランスローカリティと代替的ライフスタイルの理解に向けて	子ども・青年・中高年(2)★
344	家族	地域社会・地域問題(1)	地域社会・地域問題(2)
345	農山漁村	都市	権力・政治
346	産業・労働・組織(1)	産業・労働・組織(2)	日台学術交流セッション
347		招待講演	
351	文化・社会意識(1)	文化・社会意識(2)★	文化・社会意識(4)
352	テーマセッション1 マンガ研究・社会学の方法論比較	文化・社会意識(3)	文化・社会意識(5)
353	学史・学説(1)	テーマセッション5 新たなる経験の社会学に向けて	学史・学説(2)
354	研究法・調査法	テーマセッション6 社会学的知識への期待からみた現代社会と社会学	理論
355	階級・階層・移動(1)	階級・階層・移動(2)	階級・階層・移動(3)
356	歴史・社会史・生活史(1)	歴史・社会史・生活史(2)	社会病理
361	教育(1)	教育(2)	Session in English
362	性・ジェンダー(1)	性・ジェンダー(2)	性・ジェンダー(3)★
363	民族・エスニシティ(1)	民族・エスニシティ(3)	情報・コミュニケーション
364	民族・エスニシティ(2)	民族・エスニシティ(4)	倫理委員会企画テーマセッション
365	日本学術振興会事業(科研費・特別研究員)説明会(11時00分～12時30分)	社会学教育委員会企画ラウンドテーブル	
366	福祉・保健・医療(1)	福祉・保健・医療(2)	福祉・保健・医療(3)

★の部会は日英混成部会

研究報告題目

第一日 (9月15日)

一般研究報告 (1) (9時30分～12時30分)

学史・学説 (1)

教室 3号館5階353
司会者 左古輝人 (首都大学東京)

- | | | | |
|---|---------------|----|----|
| 1 高田保馬における自然と作為——『社会と国家』における多角的国家論をめぐって | 東京大学 | 斉藤 | 史朗 |
| 2 高田保馬の人口方程式と人口減少社会研究 | 神戸学院大学 | 金子 | 勇 |
| 3 尾高邦雄の軌跡からみる産業社会学の射程とその行方 | 東京大学大学院 | 園田 | 薫 |
| 4 現代日本における福田恆存の保守主義再考の高まりについて——時間意識に着目して | 関西学院大学
大学院 | 松野 | 靖子 |
| 5 オルテガ・イ・ガセットに代わって来日したディエス・デル・コラル——1961年の初来日講演に注目して | 日本大学 | 小山 | 義博 |

研究法・調査法

教室 3号館5階354
司会者 元治恵子 (明星大学)

- | | | | |
|---|--------------------------------|----------------------|--------------------|
| 1 比率の差の検定の有効性 | 九州大学 | 鈴木 | 譲 |
| 2 社会調査のデータ分析の方法論的検討——「因子分析」と「最小空間分析」 | 青山学院大学 | 真鍋 | 一史 |
| 3 調査員の年齢・性別が性別役割分業意識の回答に与える影響について——SSP2015データを用いた分析 | ○金沢大学
統計数理研究所
南山大学 | 小林
前田
杉原 | 大祐
忠彦
桂太 |
| 4 複素数を用いた社会ネットワーク分析の手法 | ○鹿児島大学 | 桜井 | 芳生 |
| 5 社会行動に対する遺伝子・塩基多型の影響——「文化・ジーン共進化説のミクロ的確認とネットワーク社会学的展開」速報 | 鹿児島大学
東京大学
奈良大学
鹿児島大学 | 西谷
赤川
尾上
安宅 | 篤
学
正人
弘司 |

家族

教室 3号館4階344
司会者 永井暁子 (日本女子大学)

- | | | | |
|--|-----------------|---------|----------|
| 1 モテは生まれつきか——出生前テストステロン暴露の分析による、ニューロ・ソシオロジー (神経社会学) の可能性 | 成蹊大学 | 小林 | 盾 |
| 2 夫の家事遂行と妻の結婚生活満足度のパネル分析——若年・壮年パネル調査を用いて | 静岡大学 | 吉田 | 崇 |
| 3 育児をするとはどういうことか——乳幼児の母親とのインタビュー実践における育児と家事の概念分析 | 一橋大学大学院 | 山岸 | 諒己 |
| 4 現代イギリスにおける家族を持つことの意味——小学生のいる女性へのインタビューから | 早稲田大学 | 品田 | 知美 |
| 5 選択的夫婦別姓制度と「選択のパラドックス」——社会的な影響 (特に婚姻率の低下) についての検討 | | 瀬谷 | 正巳 |
| 6 福島親子の「新しい日常」への道のり 2018——家族の経験を中心に | ○中京大学
愛知県立大学 | 成
牛島 | 元哲
佳代 |

農山漁村

教室 3号館4階345
司会者 鶴理恵子（跡見学園女子大学）

- | | | | |
|---|---------------------------|----------------|----------------|
| 1 内海・本土近接型離島における海業の生成過程——愛知県南知多町篠島の(株)篠島お魚の学校を例に | 星城大学 | 高崎 | 義幸 |
| 2 「遺産化」される生業——海女漁業の保存をめぐる論理と力学 | 名古屋大学
大学院 | 吉村 | 真衣 |
| 3 地域におけるJAの位置づけの変化——組合員文化広報活動に着目して | 神戸大学大学院 | 中島 | 隆博 |
| 4 「農村集落の調査」と「集落維持に向けての実践」との領域融解——浜松市天竜区佐久間町における調査を事例として | 静岡文化芸術
大学 | 船戸 | 修一 |
| 5 非合併小規模自治体の住民意識——長野県下伊那郡天龍村の場合 | ○滋賀県立大学
長野大学
都留文科大学 | 丸山
相川
福島 | 真央
陽一
万紀 |
| 6 現代山村における若年他出者と出身村とのつながりの諸相——長野県下伊那郡天龍村：天龍中学校卒業生調査から | ○長野大学
滋賀県立大学
都留文科大学 | 相川
丸山
福島 | 陽一
真央
万紀 |

産業・労働・組織（1）

教室 3号館4階346
司会者 大槻奈巳（聖心女子大学）

- | | | | |
|--|---------|----|-----|
| 1 出産・育児期女性の再就業と地域労働市場——奈良市を事例として | 奈良女子大学 | 水垣 | 源太郎 |
| 2 女性の就労と不妊治療 | 東京大学大学院 | 寺澤 | さやか |
| 3 「女性活躍」を働く女性たちはどう受け止めているのか——正規・非正規女性へのインタビュー調査から | 近畿大学 | 奥田 | 祥子 |
| 4 無業経験の類型化とその趨勢変化 | 大東文化大学 | 香川 | めい |
| 5 日本の労働市場における仕事（ジョブ）の構成——“ジョブの二極化”は起こっているか？ | 東京大学大学院 | 鈴木 | 恭子 |
| 6 市民社会制度改革とサードセクター組織の雇用的側面——「転換」「商業化」「専門化」の効果に注目して | 東京大学大学院 | 仁平 | 典宏 |

階級・階層・移動（1）

教室 3号館5階355
司会者 平沢和司（北海道大学）

- | | | | |
|--|------------------|----|-----|
| 1 東京圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(1) 研究の概要および東京圏の階級構造・空間構造とその変遷 | 早稲田大学
人間科学学術院 | 橋本 | 健二 |
| 2 東京圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(2) 社会空間構造の経年変化 | 明治学院大学 | 浅川 | 達人 |
| 3 東京圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(3) 貧困地域の形成過程 | 早稲田大学 | 武田 | 尚子 |
| 4 東京圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(4) 地域間移動と都市の空間構造 | 東京大学 | 佐藤 | 香 |
| 5 東京圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(5) 仕事の条件とSOCの階級的基盤 | 東北学院大学 | 片瀬 | 一男 |
| 6 東京圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(6) 地域の所得水準・所得分布が社会意識に及ぼす影響 | 早稲田大学
大学院 | コン | アラン |

社会運動（1）

教室 3号館4階342
司会者 青木聡子（名古屋大学）

- | | | | |
|--|------------------|----|----|
| 1 『脱原発』の意義の変遷——原発推進派と反原発派の攻防 | 中国瀋陽師範学
院社会学系 | 宮内 | 紀靖 |
| 2 3.11後の運動参加——（1）反原発運動と反安保法制運動への参加の異同をめぐって | 徳島大学 | 樋口 | 直人 |
| 3 3.11後の運動参加——（2）「ふつうの市民」はいかにしてデモ参加者になったか | 中京大学 | 松谷 | 満 |
| 4 3.11後の運動参加——（3）レポートリーの比較分析 | 金城学院大学 | 原田 | 峻 |
| 5 新技術導入の「エコロジー的近代化論」的分析と環境運動／市民社会 | 明治大学 | 木村 | 元 |

災害（1）

教室 3号館4階341
司会者 大矢根淳（専修大学）

- | | | | |
|--|----------------------------------|----------------------|----------------------|
| 1 災害研究の理論的系譜と課題 | 名古屋大学
大学院 | 室井 | 研二 |
| 2 災害の復旧復興過程における地域社会存続に向けた仕組みの分析——岩手県大槌町における地域アイデンティティの再構築に注目して | ○早稲田大学
早稲田大学
東洋大学
早稲田大学 | 野坂
浦野
川副
浦野 | 真
正樹
早央里
正樹 |
| 3 長期の復旧復興過程の課題からみる〈災後の社会学〉のパスpekタイプ——東日本大震災10年の検証に向けて | 早稲田大学 | 浦野 | 正樹 |
| 4 東日本大震災後の宮城県名取市民の復旧・復興感の変化——宮城県名取市民に対する質問紙調査から | 尚絅学院大学 | 内田 | 龍史 |
| 5 熊本地震における「ブリコラージュ」的連携の試み——創発ネットワークの変動過程に着目して | 大阪大学大学院 | 王 | 文潔 |

文化・社会意識（1）

教室 3号館5階351
司会者 藤田結子（明治大学）

- | | | | |
|---|-----------------|----------|-----------|
| 1 若年層の意識・価値観調査(1)——アメリカ全国ウェブ調査の回答者属性と変数間の関連 | 金沢大学 | 伊藤 | 大将 |
| 2 若年層の意識・価値観調査(2)——対日本在住外国人意識のパネル測定 | お茶の水女子
大学 | 杉野 | 勇 |
| 3 若年層の意識・価値観調査(3)——アメリカ人住民の移民に対する意識 | 北陸学院大学 | 俵 | 希實 |
| 4 若年層の意識・価値観調査(4)——価値意識・社会意識の日米比較 | 金沢大学 | 轟 | 亮 |
| 5 非体験世代における昭和30年代の理想化と社会意識 | ○立正大学
明治学院大学 | 浅岡
青木 | 隆裕
久美子 |
| 6 県外転出構造における東京都の位置——「住民基本台帳人口移動報告」と「学校基本調査」との比較から | 一橋大学大学院 | 小股 | 遼 |

教育 (1)

教室 3号館6階361
司会者 片岡栄美(駒澤大学)

- | | | | |
|---|---------|----|----|
| 1 子どもが親の仕事を観望する意義——労働人口問題への解決策として | 三重大学大学院 | 石田 | 尚子 |
| 2 大学時代の学習状況と社会意識——人文社会科学系学生を対象とした社会人パネル調査データをもとに | 東京学芸大学 | 小澤 | 昌之 |
| 3 高校トラックは生徒の進路希望に影響を与えるのか——中学生と母親パネル調査(JLPS-J)データを用いた分析 | 東京大学 | 藤原 | 翔 |
| 4 教育機会の経済的不平等に関する研究——父推計所得と学業成績を用いた趨勢分析 | 同志社大学 | 尾嶋 | 史章 |
| 5 大学進学に対する出身階層の直接効果と間接効果——相対的リスク回避仮説の規定構造の再検証 | 成蹊大学 | 川端 | 健嗣 |

福祉・保健・医療 (1)

教室 3号館6階366
司会者 天田城介(中央大学)

- | | | | |
|--|------------------|----------|----------|
| 1 双極性障害当事者にとっての診察の意味に関する考察——当事者の「語り」の多角的分析 | 関西大学大学院 | 松元 | 圭 |
| 2 精神医学的知識の普及と医療専門家の役割に関する研究——精神科医に対するアンケート調査から | 埼玉大学 | 佐藤 | 雅浩 |
| 3 審議会におけるHPVワクチン接種の評価 | 産業医科大学 | 種田 | 博之 |
| 4 「その人らしさの尊重」とは何か——ある認知症患者の11年から | 大阪市立大学 | 木下 | 衆 |
| 5 「自殺のサイン」の変遷過程——家族・支援者の解釈に注目して | ○京都大学大学院
南山大学 | 樋口
森山 | 麻里
花鈴 |
| 6 「食べる」ことの社会学に向けて——摂食障害者の語りにおける食事の実践と知識の関わりから | 筑波大学 | 佐藤 | 知菜 |

性・ジェンダー (1)

教室 3号館6階362
司会者 佐藤文香(一橋大学)

- | | | | |
|--|-------------------------|----|----|
| 1 不感症の母、依存的な父、誘惑する娘——戦後期アメリカの精神分析言説における近親姦家族の像 | 岩手県立大学 | 泉 | 啓 |
| 2 戦時性暴力の「モデル被害者」言説に対する抵抗を見出すために——セカンド・レイプ言説による新たな抑圧をめぐる一考察 | 特定非営利活動法人
社会理論・動態研究所 | 猪股 | 祐介 |
| 3 在沖米軍基地問題をめぐる性暴力の表象——地方紙の社説の分析より | 沖縄国際大学 | 玉城 | 福子 |
| 4 戦前期婦人雑誌のなかの「職業婦人」——『主婦之友』、『婦人倶楽部』、『婦人公論』の比較から | 富山県立大学 | 濱 | 貴子 |
| 5 「女医」の社会的想像力——1930年代前後における「女医」の啓蒙言説を事例として | 筑波大学 | 目黒 | 茜 |

子ども・青年・中高年 (1)

教室 3号館4階343
司会者 高山龍太郎(富山大学)

- | | | | |
|---|---------------|----|-----|
| 1 現代若者文化と「場所」(1) 都市の若者を再考する | 日本女子大学 | 木村 | 絵里子 |
| 2 現代若者文化と「場所」(2) ネット空間での友だちとのつながり方 | 立教大学 | 福重 | 清 |
| 3 現代若者文化と「場所」(3) 「オタク」文化の現在 | 東京医科歯科大学 | 大倉 | 韻 |
| 4 現代若者文化と「場所」(4) 渋谷センター街のギャル・ギャル男トライブの変遷——GatheringからSharingへ | 一橋大学 | 荒井 | 悠介 |
| 5 現代若者文化と「場所」(5) ロックフェスに「帰る」人々 | 兵庫教育大学
大学院 | 永田 | 夏来 |
| 6 U・Iターン者の地域参加と政治参加——広島県大崎上島町在住の若年層を対象として | 名古屋大学 | 竹内 | 陽介 |

民族・エスニシティ（1）

教室 3号館6階363
司会者 中野裕二（駒澤大学）

- | | | | |
|--|----------|-----|----|
| 1 重国籍制度に関する比較社会学的研究（1）——現代日本における重国籍者を巡る言説とその論点について | 青森公立大学 | 佐々木 | てる |
| 2 重国籍制度に関する比較社会学的研究（2）——日本における「国籍唯一の原則」と実態の乖離をめぐって | 大阪経済法科大学 | 武田 | 里子 |
| 3 重国籍制度に関する比較社会学的研究（3）——ドイツにおける重国籍容認への抵抗 | 法政大学 | 佐藤 | 成基 |
| 4 重国籍制度に関する比較社会学的研究（4）——英国と重国籍制度 | 早稲田大学 | 樽本 | 英樹 |
| 5 重国籍制度に関する比較社会学的研究（5）——アメリカ合衆国における重国籍容認への転換 | 立命館大学 | 南川 | 文里 |

民族・エスニシティ（2）

教室 3号館6階364
司会者 小井土彰宏（一橋大学）

- | | | | |
|--|----------------------|----------|----------|
| 1 日本における外国籍者の所得の規定要因——全国調査データを用いた分析 | 東北大学大学院 | 永吉 | 希久子 |
| 2 エスニック・ビジネスとしての「韓流ショップ」の展開——大阪市生野区におけるニューカマー韓国人の社会関係に注目して | ○神戸山手大学
大阪市立大学大学院 | 八木
吉田 | 寛之
全宏 |
| 3 沖縄における南米系日系人の求職過程——移民の社会適応と社会移動に対する社会関係資本に着目して | 琉球大学 | 崎濱 | 佳代 |
| 4 留学生の支援策を開発するためのワークショップ——「九〇后」世代の「生きづらさ」に着目して | 都市文化研究所 | 張 | 心怡 |
| 5 EU政策のスウェーデン過疎地域の社会サービス提供に対する影響 | 静岡大学 | 太田 | 美帆 |
| 6 国境を超えた職業達成に対する新規獲得学歴の効果——アメリカ The New Immigrant Survey (NIS) と戦後移住者インタビューの分析から | 武蔵大学 | 中西 | 祐子 |

歴史・社会史・生活史（1）

教室 3号館5階356
司会者 稲垣恭子（京都大学）

- | | | | |
|---|---------------------------|----------------|----------------|
| 1 「子どもの誕生」再考（1）——昭和初期における「貰い子」と「児童虐待」の交錯 | 新潟県立大学 | 高橋 | 靖幸 |
| 2 「子どもの誕生」再考（2）——戦時動員・疎開における近代的子ども観と身体のリアルの交錯 | 明治学院大学 | 元森 | 絵里子 |
| 3 「子どもの誕生」再考（3）——1960年代里親委託実践にみる「子どものニード」と養護実践の相互昂進 | ○徳島大学
新潟県立大学
明治学院大学 | 土屋
高橋
元森 | 敦
靖幸
絵里子 |
| 4 「人生」を語り始める清水幾太郎——社会学と自伝が会うとき | 東京大学大学院 | 品治 | 佑吉 |
| 5 「消費者」の歴史社会学——戦前期日本における「消費者」概念の変容に着目して | 東京大学大学院 | 林 | 凌 |
| 6 日本の結婚式・披露宴の変遷——ブライダル司会者の現状と課題 | 甲南女子大学大学院 | 廣澤 | 美花 |
| 7 日本における文学場——明治後期～大正時代における文壇状況を手掛かりとして | 京都大学大学院 | 椎名 | 健人 |

テーマセッション1 マンガ研究・社会学の方法論比較

教室 3号館5階352
司会者 茨木正治 (東京情報大学)

- | | | | | | |
|---|--|--------------|-------------|--------|-----|
| 1 | メキシコ漫画における歴史としてのドラマ——1950年代から1970年代におけるメキシコの漫画と公教育省の文化制度 | 国際日本文化研究センター | エルナンデス・アルバロ | エルナンデス | ダビド |
| 2 | 「日本型」キャラクター表現の国際化について——武器擬人化キャラクター像の日中対比を例として | 名古屋大学大学院 | 孫 | 旻喬 | |
| 3 | 戦時下のカーテーンにおける見立て表現についての研究——『漫画』(1940-1951)を事例として | 京都造形芸術大学 | 小野塚 | 佳代 | |
| 4 | 吾妻ひでおマンガの「転調」——矛盾許容論理とFrame Analysisの比較とともに再考する | 椋山女学園大学 | 鎌田 | 大資 | |

研究活動委員会企画テーマセッション1

社会学にとって<沖縄>とは何か、沖縄にとって「社会学」とは何か

教室 3号館2階321
司会者 野入直美 (琉球大学)

- | | | | | | |
|---|---------------------------------|----------|----|----|--|
| 1 | 米軍統治下沖縄のメイドたち——家事労働者と軍労働者の狭間で | 立命館大学大学院 | 佐草 | 智久 | |
| 2 | 辺野古に基地を受け入れさせる構造 | 明星大学 | 熊本 | 博之 | |
| 3 | 軍用地返還跡地利用の日独比較研究——国際比較の事例としての沖縄 | 大阪経済大学 | 難波 | 孝志 | |
| 4 | 沖縄戦の生活史と戦後沖縄社会の構造変容 | 立命館大学大学院 | 岸 | 政彦 | |

研究活動委員会企画テーマセッション2

国家神道なるものと戦後の日本社会

教室 3号館2階322
司会者 寺田喜朗 (大正大学)

- | | | | | | |
|---|--|--------|----|----|--|
| 1 | 戦後日本社会における「国家神道」概念の形成 | 國學院大學 | 藤田 | 大誠 | |
| 2 | 「国家神道なるもの」の拡がりや深まり——村上重良『国家神道』その後 | 東京工業大学 | 弓山 | 達也 | |
| 3 | 「国家神道」と地域社会——歴史学の立場から | 上越教育大学 | 畔上 | 直樹 | |
| 4 | 「国家神道」はどこに立ち現れるのか——戦後日本の政教分離訴訟とその社会的背景 | 上越教育大学 | 塚田 | 穂高 | |
| 5 | 社会論としての国家神道論 | 上越教育大学 | 小島 | 伸之 | |

日本学術振興会事業 (科研費・特別研究員) 説明会 (11:00 ~ 12:30)

教室 3号館6階365

第一日 (9月15日)

一般研究報告 (2) (15時00分～18時00分)

都市

教室 3号館4階345

司会者 二階堂裕子 (ノートルダム清心女子大学)

- | | | | |
|---|-------------------|----------|----------|
| 1 米軍基地文化を保存する営み——埼玉県入間市「ジョンソントウン」を事例として | 東京都市大学 | 塚田 | 修一 |
| 2 沖縄本島のニュータウンと「字」に関する考察 | 佛教大学 | 牧野 | 芳子 |
| 3 ドミナント・ストーリーの抽出とオルタナティブ・ストーリーの生成——「奇跡」をテーマにした映画づくりワークショップの実践を事例として | 早稲田大学 | 沼田 | 真一 |
| 4 社会の流動性に応じた人間関係の同質性・異質性——個人単位および社会単位の間人間関係に着目した地域社会調査 | ○東京女子大学
日本女子大学 | 福島
石黒 | 慎太郎
格 |
| 5 近年におけるキャンベラの都市開発の動向 | 安田女子大学 | 野邊 | 政雄 |

地域社会・地域問題 (1)

教室 3号館4階344

司会者 牧野厚史 (熊本大学)

- | | | | |
|---|-----------|----|------|
| 1 歴史と地域社会——誰がどのように地域の歴史を書いているのか | 東京国際大学 | 高田 | 知和 |
| 2 映画上映と被災地復興——岩手県沿岸部・石巻市での映画上映会を事例として | 東海大学 | 石垣 | 尚志 |
| 3 祭礼の実践による地域アイデンティティの再構築——愛媛県新居浜市「新居浜太鼓祭り」の事例 | 総合研究大学院大学 | 倉田 | 健太 |
| 4 韓国ソウル市におけるマウル共同体政策の展開と担い手の養成 | 天理大学 | 魯 | ゼウオン |
| 5 タイ農村のネットワーク再論——北タイ・ナーン県H村について | 日本女子大学 | 尾中 | 文哉 |
| 6 日本とタイの互助慣行の比較——東北部と北部の農山村を中心に | 流通経済大学 | 恩田 | 守雄 |

産業・労働・組織 (2)

教室 3号館4階346

司会者 今井順 (上智大学)

- | | | | |
|---|-------------|----|-----|
| 1 労働者に対して産業がもたらす影響 | 同志社大学大学院 | 稲元 | 洋輔 |
| 2 経済社会学における遂行性アプローチの検討——ドナルド・マッケンジーの経験的研究を中心に | 東京大学大学院 | 金 | 信行 |
| 3 農山村移住者の働き方をめぐる選択——ライフコース・パターンの解明に向けて | 早稲田大学 | 畑山 | 直子 |
| 4 フリーランスであることの協同的達成——アニメ作画スタジオのワークプレイス研究 | 労働政策研究・研修機構 | 松永 | 伸太郎 |
| 5 「楽しい会社の強さ」——生活者からみた「働きたい会社」調査をもとに | 株式会社博報堂 | 森 | 泰規 |
| 6 タレントマネジメントシステムの進展について——SNSとAI | 文京学院大学 | 高木 | 裕宜 |

階級・階層・移動 (2)

教室 3号館5階355

司会者 岩井八郎 (京都大学)

- | | | | |
|---|---------------|-----|-----|
| 1 初期の格差とライフイベント——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (1) | 東京大学 | 石田 | 浩 |
| 2 初婚年齢と出生行動の関連について——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (2) | 東京理科大学 | 茂木 | 暁 |
| 3 個人のライフコースと家業の継承——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (3) | 大阪経済大学 | 苔米地 | なつ帆 |
| 4 生活空間とジェンダー——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (4) | 首都大学東京
大学院 | 柳下 | 実 |
| 5 若年層における階級下降移動——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (5) | 東京大学 | 三輪 | 哲 |
| 6 社会的孤立と無業の相互依存性の学歴による差異——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (6) | 東京大学 | 石田 | 賢示 |
| 7 パネルデータにおける因果メカニズムの識別戦略——東大社研パネル調査 (JLPS) データの分析 (7) | 東京大学 | 大久保 | 将貴 |

文化・社会意識（2）日英混成部会

教室 3号館5階351
司会者 秋吉美都（専修大学）

- | | | | |
|---|---|----------------|--------------------|
| 1 プロ自転車競技におけるドーピングの文化史——サバイバル崇拜と近代スポーツのはざままで | 学習院大学 | 姫野 | 宏輔 |
| 2 マナー言説と「静かな」統治——都市鉄道における「快適性向上」と「迷惑行為」 | 国際基督教大学 | 根岸 | 海馬 |
| 3 なぜ不利な人びとは「誰にも頼れない」のか——孤立をもたらす構造的・心理的メカニズムの計量分析 | 龍谷大学 | 三谷 | はるよ |
| 4 Assimilation, Heterolocalism and Bonding Social Capital: The Case of Immigrant Indian Community in USA | | Mukherjee | Anirban |
| 5 Multiple Representations of the Past and Popular Culture: "Ottomania" and "Cool Japan" in Comparative Perspective | ○ Koc University
St. Andrew's University | ERGIN
Chika | Murat
Shinohara |

文化・社会意識（3）

教室 3号館5階352
司会者 園田茂人（東京大学）

- | | | | |
|--|-----------------|----|-----|
| 1 中国先進都市の社会的消費——上海・北京2都市での統計調査から（1） | 東京通信大学 | 廣瀬 | 毅士 |
| 2 消費主義と主観的幸福感——上海・北京2都市での統計調査から（2） | 信州大学 | 水原 | 俊博 |
| 3 中国都心部における消費態度の分析——上海・北京2都市での統計調査から（3） | 株式会社
ビデオリサーチ | 朝倉 | 真粧美 |
| 4 中国人のシェアリング・エコノミー利用意向 ——上海・北京2都市での統計調査から（4） | 文京学院大学 | 寺島 | 拓幸 |

教育（2）

教室 3号館6階361
司会者 相澤真一（中京大学）

- | | | | |
|---|--------------------|-----|----|
| 1 日本の英語教育政策の現状と理想を考察する——グローバル化社会と新学習指導要領の視点から | 早稲田大学・
愛知県立高等学校 | 岩村 | 博史 |
| 2 奨学金制度における意図せざる排除メカニズム——「大人への移行」の困難と奨学金申請からの排除 | 東京大学大学院 | 朴 | 慧原 |
| 3 テネシープロミス（Tennessee Promise）——米国テネシー州の大学無償化政策と中間層支援 | 流通科学大学 | 宇田川 | 拓雄 |
| 4 北九州大学文学部設置への期待と帰結 ——教員・自治体・学生の側面から | 筑波大学大学院 | 野上 | 亮 |
| 5 大学のジェンダー施策の実態と課題——女性研究者支援モデル育成事業実施機関のホームページ調査から | 福岡県立大学 | 坂無 | 淳 |
| 6 2010年代以降の高校生における進路の男女分化過程の検討——性別役割観の多様な側面に注目したアプローチ | 広島大学 | 白川 | 俊之 |

福祉・保健・医療（2）

教室 3号館6階366
司会者 平岡公一（お茶の水女子大学）

- | | | | |
|---|--------------------------|----------|-----------|
| 1 地域拠点における「総合相談」の意義 ——A町「ぽっと」からの考察 | ○大阪市立大学大学院
北海道総合研究調査会 | 野村
切通 | 恭代
堅太郎 |
| 2 米国カリフォルニア州の尊厳死の支援者間における相容れなさ——政治的側面と医療的側面に着眼して | 鹿児島大学 | 片桐 | 資津子 |
| 3 希少性・難治性疾患患者の医学研究参画とジェネティック・シティズンシップ（遺伝学的市民権）——日本とアメリカにおける患者中心型バイオバンク・レジストリの事例検証から | 東京大学 | 渡部 | 沙織 |
| 4 乳房再建から他者へ | 立教大学大学院 | 菅森 | 朝子 |
| 5 若者ケアラーの語りにもみる「介護と仕事の両立」と介護離職 | 日本女子大学 | 松崎 | 実穂 |
| 6 障害者支援活動における行為者の活動への意味づけ——障害者支援活動に対する調査から | 一橋大学大学院 | 加藤 | 旭人 |

性・ジェンダー（2）

教室 3号館6階362
司会者 須長史生（昭和大学）

- | | | | |
|--|----------|----|-----|
| 1 同性愛者が経験する「意図しない差別」に関する記述概念の検討
——同性愛嫌悪・異性愛主義・異性愛規範 | 早稲田大学 | 大坪 | 真利子 |
| 2 LGBT 差別による社会的損失——自殺・うつによる社会的損失推計
の試み | 金沢大学 | 岩本 | 健良 |
| 3 髪の毛がない人びとの「生きづらさ」とジェンダー——脱毛症当
事者への聞き取り調査を通して | 日本大学大学院 | 吉村 | さやか |
| 4 性的マイノリティーの職業観——米国でのインタビューの結果と
日本での調査に向けての考察 | フロリダ州立大学 | 上野 | 康司 |

民族・エスニシティ（3）

教室 3号館6階363
司会者 鶴見太郎（東京大学）

- | | | | |
|---|----------------|-----------|--------------|
| 1 笑う「ハーフ」の身体——「日中ハーフあるある」動画を事例に | 大阪市立大学 | ケイン | 樹里安 |
| 2 パタヤ市のコミュニティ施策と地域共同管理 | ○福島大学
宇都宮大学 | 牧田
マリー | 実
ケオマノータム |
| 3 香港のインドネシア人家事労働者による社会活動グループ参加と
帰国後のライフコースへの影響 | 天理大学 | 澤井 | 志保 |
| 4 日本統治期の台湾における近代女性イメージ構築 ——1930年代
の『台湾婦人界』および『台湾愛国婦人』における女性表象の比
較から | 神戸大学大学院 | 藤岡 | 達磨 |
| 5 <「ハーフ」の捉え難さ>を捉える——日本社会における「ミッ
クス・レイス」研究の確立を目指して | 大阪経済法科大学 | 下地 | ローレンス
吉孝 |
| 6 「名誉」と「排日」——レイシズム史研究のアジア的転回に向けて | 津田塾大学 | 山本 | めゆ |

民族・エスニシティ（4）

教室 3号館6階364
司会者 嘉本伊都子（京都女子大学）

- | | | | |
|---|-----------------|----|-----|
| 1 ケアを担う外国につながる子どもたちの現状分析——多文化共生
社会におけるヤングケアラー | 和歌山工業高等
専門学校 | 原 | めぐみ |
| 2 国際結婚夫婦の組み合わせに対する民族とジェンダーの交差性の
影響——日本全国・東京都区部・名古屋市・大阪市の人口動態統
計データによる検討 | 同志社大学 | 藤岡 | 勲 |
| 3 韓国における中国朝鮮族の児童生徒の流入と教育に関する研究—
—「留守児童生徒」から「流動児童生徒」、そして受け入れ社会の「外
国人児童生徒」へ | 宇都宮大学 | 金 | 英花 |
| 4 ジェンダーとエスニシティをめぐる親子間の交渉——フィリピン
系親子を事例にして | 中京大学 | 三浦 | 綾希子 |
| 5 フランスのムスリム移民若者における宗教的飲食制限の関連要因
の変化 | 早稲田大学 | 小島 | 宏 |
| 6 多言語と多民族社会、台湾の言語に見る共生のあり方——3世代家
族における多言語の語り合いの事例より | 関西学院大学
大学院 | 齋藤 | 幸世 |

歴史・社会史・生活史（2）

教室 3号館5階356
司会者 石原俊（明治学院大学）

- | | | | |
|--|---------|----|-----|
| 1 誰が奈良公園を保存するのか——1939年から51年の公園地解除
の議論から | 京都大学大学院 | 堂本 | 直貴 |
| 2 「衰退していく地域」で生きていくこと——銅山町足尾での「古い」
の語りを通して | 日本大学大学院 | 三浦 | 一馬 |
| 3 炭鉱の経験はいかに記憶されてきたか——ある詩人の作品と半生
から | 東日本国際大学 | 坂田 | 勝彦 |
| 4 帝国とアジアの間に——戦時日本におけるウェーバー研究と中
国社会論 | 京都大学大学院 | 吉 | 琛佳 |
| 5 創設期自衛隊の歴史社会学的研究——日本の民軍関係の「戦前」
と「戦後」 | 神戸学院大学 | 松田 | ヒロ子 |
| 6 集合的記憶と個人的記憶——記憶の共有性と忘却性をめぐって | 亜細亜大学 | 有末 | 賢 |

テーマセッション2

進化論と生物学と社会学：バイオフィリアに対する、逆・ボーナスをもとめて、、、
 教室 3号館2階322
 司会者 桜井芳生（鹿児島大学）

- | | | | |
|---|--------------|----|-----|
| 1 高田少子化論の進化論的基盤 | 東京大学 | 赤川 | 学 |
| 2 生物学的知見を導入した社会学の研究動向にかんする一考察 | 日本女子大学 | 三原 | 武司 |
| 3 慢性疾患の「生きづらさ」とは——ターナー症候群の2例 | 国立スポーツ科学センター | 高口 | 僚太郎 |
| 4 IPS (Intra-inter Personal Spiral) 理論の彫琢と隣接諸領域との接合 | 明治大学 | 内藤 | 朝雄 |
| 5 ヒトの言語とFOXP2 遺伝子——ヒューマン・ユニヴァーサルズからアニマル・ユニヴァーサルズへ | 奈良大学 | 尾上 | 正人 |
| 6 社会学のためのDNA抽出と遺伝子型解析の実際 | 鹿児島大学 | 西谷 | 篤 |

テーマセッション3 原子力と放射能をめぐる分断の実態と共存への道

教室 3号館4階341
 司会者 成元哲（中京大学）

- | | | | |
|--|---------|----|-----|
| 1 分類と分断のあいだ——「被爆者」と被爆者運動を事例として | 広島市立大学 | 直野 | 章子 |
| 2 放射能汚染の食品安全において後景化するつながり —— 「二本松で有機農業が続くこと」を实践する人びと | 東京国際大学 | 柄本 | 三代子 |
| 3 「宙づり」の時間と空間——新潟県への原発避難の事例から | 新潟大学 | 松井 | 克浩 |
| 4 原発事故の「避難」再編をめぐる生活再建と地域の維持可能性 | 明治学院大学 | 藤川 | 賢 |
| 5 原発避難者とホストコミュニティの共生に向けた取り組みと課題——福島県いわき市を事例として | 東洋大学 | 川副 | 早央里 |
| 6 原発避難者に対する受け入れ住民の意識構造 —— 福島県内の三都市住民に対する調査から | いわき明星大学 | 高木 | 竜輔 |
| 7 福島原発事故と「生の一回性」——対立を越えていく「語り」から | 立教大学 | 関 | 礼子 |

テーマセッション4 社会思想・理論と紛争・運動・デモ

教室 3号館4階342
 司会者 濱西栄司（ノートルダム清心女子大学）

- | | | | |
|--|-------------|----|----|
| 1 傍観者の判断——ハンナ・アーレントの政治思想から考える | 広島市立大学 | 湯浅 | 正恵 |
| 2 「承認の政治」の外部——社会運動における自己承認の可能性 | 京都大学 | 鈴木 | 赳生 |
| 3 途上国の行為主体について——ガーナ北部農村部における民衆運動の担い手のライフストーリーから | 名古屋大学 | 近藤 | 菜月 |
| 4 社会運動のパフォーマティヴィティ——J. バトラーにおける「身体の政治性」をめぐる | 佛教大学 | 大貫 | 拳学 |
| 5 新实在論の視点による社会運動理論についての一試論——哲学の社会学理論への援用可能性の模索 | 立命館アジア太平洋大学 | 清家 | 久美 |
| 6 社会-物質のアソシエーションとしての運動研究を開く——マイクロ運動研究における人間とモノの集会的考察へ | 日本学術振興会 | 森 | 啓輔 |
| 7 社会運動の「モナド論的分析」の可能性について——Isaac Marrello-Guillamon による議論を中心として | 千葉商科大学 | 中倉 | 智徳 |

テーマセッション5 新たなる経験の社会学に向けて

教室 3号館5階353
 司会者 磯直樹（慶応義塾大学）

- | | | | |
|---|--------|----|-----|
| 1 H・アーレントの社会学批判と経験の「新しさ」の認識——「活動」概念における「始まり」に着目して | 日本大学 | 河合 | 恭平 |
| 2 技術による人間本性の補完と改変をめぐる——教育実践との関連を中心に | 首都大学東京 | 堀内 | 進之介 |
| 3 スコア化社会におけるアルゴリズム批判について | | 塚越 | 健司 |
| 4 社会的盲点の可視化はいかにして可能か | 東京女子大学 | 赤堀 | 三郎 |

テーマセッション6

社会学的知識への期待からみた現代社会と社会学—社会学 1.0 ? / 1.5 ? / 2.0 ?

教室 3号館5階354

司会者 檜田美雄 (神戸市看護大学)

- | | | | |
|---|-----------|----|----|
| 1 「社会学の知」の位置と資産 | 東京大学 | 佐藤 | 俊樹 |
| 2 犯罪社会学における社会学 1.5——犯罪統計・犯罪不安・体感治安 | 淑徳大学 | 山本 | 功 |
| 3 発達障害者という「強いられた社会学者」のための「社会学 1.5」——「社会学 1.5」の日常実践を可能とする基盤としての社会学を求めて | 立教大学大学院 | 田野 | 綾人 |
| 4 社会学と社会的実践 (social exercise) の交差する領域——健康と病のグレーエリアを事例として | 国立保健医療科学院 | 松繁 | 卓哉 |
| 5 「常識」を踏み越えない社会学は、社会学なのか——「社会学 0.0」としてのエスノメソドロロジー研究 | 国際基督教大学 | 岡田 | 光弘 |

研究活動委員会企画テーマセッション3

トランスローカリティと代替的ライフスタイルの理解に向けて

教室 3号館4階343

司会者 羽瀨一代 (弘前大学)

- | | | | |
|---|-------------------|----|----|
| 1 労働市場のグローバル化と自治体の就労支援 | 甲南大学 | 阿部 | 真大 |
| 2 地域おこし協力隊をめぐる可能性とアポリア | 愛知県立大学 | 井戸 | 聡 |
| 3 田園回帰をめぐる構造転換の可能性 | 弘前大学 | 平井 | 太郎 |
| 4 地域イメージの向上と「関係人口」の関連について——「現代アートの島」として有名性を獲得した直島を事例に | 立命館大学稲盛経営哲学研究センター | 松村 | 淳 |
| 5 他出者の「還流可能性」に関する一考察——青森県出身首都圏在住の若者の事例から | 首都大学東京大学院 | 成田 | 凌 |
| 6 トランスローカリティ・モデル——地方の「新しい働き方」を考える | 同志社大学 | 齋田 | 竜蔵 |

日韓ジョイントパネル

教室 3号館2階321

司会者 伊地知紀子 (大阪市立大学)

金香男 (フェリス学院大学)

- | | | | |
|--------------------------------------|--------|--------------|--------|
| 1 韓国社会における朝鮮族の差別と「故郷」の意味 | 梨花女子大学 | Sharon Yoon | Jihyun |
| 2 韓国の障害者差別禁止法の実行とアカデミック研究 | ソウル大学 | Yunjeong Joo | |
| 3 社会学 (者) と反ヘイトスピーチ運動 | 関西学院大学 | 金 | 明秀 |
| 4 日本における同性パートナーシップ制度と同性婚に対する当事者たちの意識 | 大阪市立大学 | 新ヶ江 | 章友 |

社会学教育委員会企画ラウンドテーブル

大学院・お悩み相談室「昌子の部屋」 お題「3年間で博士学位を出す方法」

教室 3号館6階365

- 室長 石井クンツ昌子 (お茶の水女子大学)
相談員 稲葉昭英 (慶應義塾大学)
白鳥義彦 (神戸大学)
相談者 松本康 (立教大学)

招待講演

教室 3号館4階347

(論文の部受賞者) 麦山亮太
受賞作品: 「職業経歴と結婚への移行——雇用形態・職種・企業規模と地位変化の効果における男女差」(『家族社会学研究』第29巻2号)

- (著書の部受賞者1) 矢吹康夫
受賞作品: 『私がアルビノについて調べ考えて書いた本——当事者から始める社会学』(生活書院)
(著書の部受賞者2) 中森弘樹
受賞作品: 『失踪の社会学——親密性と責任をめぐる試論』(慶應義塾大学出版会)

第二日 (9月16日)

一般研究報告 (3) (9時30分～12時30分)

学史・学説 (2)

- 1 ジンメルとデュルタイの認識論の比較研究——19世紀後半から20世紀初頭ドイツの人文社会科学における社会学の意義
- 2 エーリッヒ・フロムの社会的性格論とその人間学的含意——フロイト批判とデュレイの習慣の社会心理学に着目して
- 3 フーコーにおける物質性——その現代的意義
- 4 M. フーコーの系譜学と圏論——『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を例として
- 5 A. Giddens 後期近代論と感情の社会史研究の架橋の可能性——振舞のコードとしての「ほんものらしさ (authenticity)」について
- 6 後期アルヴァックスの集合心理学について

教室 3号館5階353
司会者 中倉智徳 (千葉商科大学)

早稲田大学	大窪	彬夫
東京大学	魚住	知広
神戸松蔭女子学院大学	西川	純司
日本郵便	大山	智徳
立命館大学	谷原	吏
甲南女子大学	金	瑛

理論

- 1 相互行為の外側としての「空間」——ゴフマン理論のCMC分析への応用に向けて
- 2 J. バトラーにおける「語る身体」の射程
- 3 客観的リスク論と主観的リスク論の並立について——原発過酷事故からの考察
- 4 芸術にとって国家はなぜ問題なのか？——芸術社会学における組織・制度論からの視点
- 5 時空、社会的事実、出来事の法——国際法の社会学
- 6 明治維新の歴史社会学序説

教室 3号館5階354
司会者 小松丈晃 (東北大学)

神戸大学大学院	若狭	優
東京理科大学	長野	慎一
関西学院大学大学院	竹内	宏規
大阪市立大学	笹島	秀晃
同志社大学	落合	仁司
早稲田大学	桜井	洋

地域社会・地域問題 (2)

- 1 人口減少と温泉地域滞在客の動向および関連性——山形県の温泉滞在客数を事例に
- 2 地域支援者のキャリア形成と移住・定住の条件——長野県内で活動する地域おこし協力隊への調査を手がかりに
- 3 旧広島市域における宗教文化の変容と現状——忘れられた厳島神社
- 4 地域医療と看取りの在り方——人生の最終段階における医療・ケアと救急要請について
- 5 災害時におけるペット飼育者と非・飼育者の「共生」への課題——避難所でのペット同行避難対応の事例から
- 6 地域社会における人と猫をめぐるコンフリクトの可視化に向けて——野良猫問題と地域猫活動を事例として

教室 3号館4階344
司会者 足立重和 (追手門学院大学)

明治学院大学大学院	永岡	圭介
○立命館大学 長野大学	宮下 相川	聖史 陽一
広島修道大学	中道	豪一
○広島国際大学 訪問看護ステーションおおさき 広島商船高等専門学校 一般社団法人ORINAS	諫山 沖原 柴山 小櫃 徳田	憲司 静 慧 俊介 剛
大谷大学		
日本大学	木下	征彦

階級・階層・移動（3）

- 1 3～4 か月間での職業移動——周辺の労働に関する短期パネル調査より
- 2 若年就業者にとっての仕事の価値の安定性と揺らぎ——周辺の労働に関する短期パネル調査より
- 3 独占型資格と賃金および仕事満足度との関連にかんする基礎分析——周辺の労働に関する短期パネル調査より
- 4 労働市場制度と社会階層の生成——正規/非正規転換と職業的地位獲得に対する社会ネットワークと職業紹介の効果
- 5 自営業と非正規雇用からの退出後について雇用形態の比較——2015年SSM調査データを用いて
- 6 職業経歴からみる転職経験の意味——転職者内の多様性を加味した縦断的分析

教室 3号館5階355
司会者 村尾祐美子（東洋大学）

京都大学	太郎丸	博
立教大学	田藤	裕祐
京都大学	山本	耕平
名古屋大学	福井	康貴
大阪大学	平尾	一朗
東京大学大学院	麦山	亮太

権力・政治

- 1 日本におけるナショナリズムの時点間比較——『国際化と市民の政治参加に関する世論調査2017』の分析（1）
- 2 外国人の増加による影響の認知の時点間比較——『国際化と市民の政治参加に関する世論調査2017』の分析（2）
- 3 居住分離、脅威、排外意識——『国際化と市民の政治参加に関する世論調査2017』の分析（3）
- 4 自民党支持層の時点間比較——『国際化と市民の政治参加に関する世論調査2017』の分析（4）
- 5 経済状況と投票行動に関する社会学的分析——『国際化と市民の政治参加に関する世論調査2017』の分析（5）
- 6 生政治における〈法外的なもの〉

教室 3号館4階345
司会者 金明秀（関西学院大学）

早稲田大学	田辺	俊介
駒澤大学	濱田	国佑
東北大学大学院	五十嵐	彰
和光大学	米田	幸弘
首都大学東京	桑名	祐樹
専修大学	西角	純志

社会運動（2）日英混成部会

- 1 選挙と折伏——創価学会男女青年部の体験談・決意文集からみる1967年の衆院議員選挙
- 2 1968年5月学生運動の嵐——50周年における再評価
- 3 Christianity and Hong Kong's Umbrella Movement
- 4 追悼碑をめぐる軋轢問題にみる記憶の衝突——福岡県飯塚市「無窮花堂」を事例として
- 5 The Hiroshima Memory Complex
- 6 Can Social/Civic Engagement Boost Youth Life Satisfaction and Reduce Inequalities in Subjective Well-being? A Quasi-Experimental Test of a Nationwide Youth Engagement Intervention in the UK

教室 3号館4階342
司会者 富永京子（立命館大学）

立命館大学大学院	浅山	太一
近畿大学	山下	雅之
Nagasaki University	伍	嘉誠
九州共立大学	大和	裕美子
Aarhus University	Olesen	Thomas
University of Manchester	Laurence	James

災害（2）

- 1 原発災害による「利用されるレジリエンス」と抵抗——福島県南相馬市 X 集落を事例に
- 2 コミュニケーション分断とディスコミュニケーションの可能性——原発事故後の福島におけるユーモアと笑いを事例として
- 3 原子力発電所の再稼働をめぐる基礎自治体の関与——浜岡原子力発電所の再稼働に関する市町村長アンケート調査の結果から
- 4 ジェンダー視点から見た災害対応の現状と課題——熊本地震を事例として
- 5 なぜあわいの世界では時間が遡行するのか——東日本大震災における遺族のみる夢を事例として
- 6 復興政策と原子力発電への態度の規定因——男女差と階層差は説明可能か
- 7 近代日本における災害復興の特徴と課題——災害復興政策の形成過程の歴史的分析から

教室 3号館4階341
司会者 松園祐子（淑徳大学）

- | | | |
|-----------|----|----|
| 東北学院大学大学院 | 庄司 | 貴俊 |
| 一橋大学大学院 | 庄子 | 諒 |
| ○一橋大学大学院 | 辰巳 | 智行 |
| 静岡大学 | 中澤 | 高師 |
| 早稲田大学 | 浅野 | 幸子 |
| 東北学院大学 | 金菱 | 清 |
| 立教大学 | 村瀬 | 洋一 |
| 岩手県立大学 | 吉野 | 英岐 |

文化・社会意識（4）

- 1 どのような言葉が人を幸せにするのか ——自由回答のテキスト・マイニング分析を用いた混合研究法アプローチ
- 2 会話ハウトゥ本に見られる合理主義的コミュニケーション観
- 3 「名言」と「予言」のポリティクス——オンライン空間におけるテレビ霊能者の情報流通
- 4 省エネルギー行動に関する家族構成員間の相互作用——構成員の価値観およびエネルギー意識に着目して

教室 3号館5階351
司会者 牧野智和（大妻女子大学）

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| ○北海道大学 | HOMMERICH | Carola |
| 成蹊大学 | 小林 | 盾 |
| 神戸大学 | 桶川 | 泰 |
| 立教大学大学院 | 伊藤 | 慈晃 |
| ○横浜国立大学 | 大塚 | 彩美 |
| 国立環境研究所 | 平野 | 勇二郎 |
| 横浜国立大学大学院 | 吉原 | 直樹 |
| 横浜国立大学 | 鳴海 | 大典 |

文化・社会意識（5）

- 1 オフ・スクリーンの映像文化論——戦時下日本の映画統制をめぐって
- 2 DIY の多様性をめぐる一考察——英米および日本における関連研究の比較から
- 3 「社会化」される個人の庭園鉄道——「桜谷軽便鉄道」の事例から
- 4 クラシック音楽の鑑賞行動——関与対象の違いによる類型化とその要因
- 5 ビデオ受容空間の変容とその意味——1980年代のアニメファンのビデオ店利用を中心に
- 6 日本のアミューズメント文化における抵抗と策略——景品獲得ゲームを事例として

教室 3号館5階352
司会者 宮台真司（首都大学東京）

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 日本学術振興会 | 近藤 | 和都 |
| 目白大学 | 溝尻 | 真也 |
| 関西大学 | 塩見 | 翔 |
| 南山大学 | 川北 | 真紀子 |
| 明星大学 | 永田 | 大輔 |
| 中央大学大学院 | BOTTOS | BENOIT |

情報・コミュニケーション

- 1 新聞・雑誌諷刺画における文字と画像の考察
- 2 地域社会における市民活動とメディア・アテンション——宮城県所管のNPOに関する新聞報道を事例として
- 3 マイノリティを包摂するコミュニティ放送——包摂型番組の事例から
- 4 ネット利用による意見・態度の〈分極化〉を検証する——一般化順序ロジットモデルを用いた計量分析
- 5 青森県における初期テレビ受容——下北郡佐井村、八戸市を事例として
- 6 健康な食生活への訴求力のある社会学的言明の可能性

教室 3号館6階363
司会者 難波功士（関西学院大学）

東京情報大学	茨木	正治
中央大学	高橋	徹
○龍谷大学	松浦	さと子
名古屋大学	小川	朋子
○大阪大学	辻	大介
大阪大学	齋藤	僚介
早稲田大学大学院	太田	美奈子
立正大学大学院	真間	大地

社会病理

- 1 「贖罪の脚本」は頑健たりうるか？——支援とナラティブの社会学（1）
- 2 自己物語における精神医学的診断の語り直し——支援とナラティブの社会学（2）
- 3 医師の英雄性とその困難——支援とナラティブの社会学（3）
- 4 高次脳機能障害の生き難さと支援——支援とナラティブの社会学（4）
- 5 犯罪被害者支援の現状と課題——支援とナラティブの社会学（5）
- 6 「死別」に伴う悲嘆とはどのような“経験”とみるべきなのか——支援とナラティブの社会学（6）

教室 3号館5階356
司会者 佐藤哲彦（関西学院大学）

埼玉県立大学	相良	翔
東京通信大学	櫛原	克哉
早稲田大学	鷹田	佳典
富山大学	伊藤	智樹
法政大学	佐藤	恵
東京学芸大学	水津	嘉克

福祉・保健・医療（3）

- 1 治る／治らない未来のためにある現在——ALS患者の語りから
- 2 〈独力でできること〉に基礎づけられた視覚障害者の自立観
- 3 「Timeless trajectory」の応用可能性の検討——希少未診断患者の経験を読み解くために
- 4 「出生前診断」という技術——正当性を保証する装置
- 5 精神科病院造形教室における表現による自己の変化——自由な表現、「居場所性」、他者とのコミュニケーション
- 6 中国の Outsider Art——エージェンシーとアブダクションに注目して

教室 3号館6階366
司会者 山下亜紀子（九州大学）

帝京大学	石島	健太郎
関西学院大学大学院	山岸	蒼太
日本学術振興会	上野	彩
立正大学大学院	石田	裕美子
京都造形芸術大学	藤澤	三佳
早稲田大学	石岡	亜希子

性・ジェンダー（3） 日英混成部会

- 1 在日中国人女性のライフスタイルと就労意識——日本人配偶者を持つ中国人高学歴女性を事例として
- 2 男性が妊娠の当事者になるとき——男性不妊治療の専門医と男性当事者へのインタビュー調査から
- 3 "I will never be a grandfather": the effects of involuntary childlessness in the lives of older men
- 4 Surrogate Motherhood in India: An Emotional Labor

教室 3号館6階362
司会者 石井由香理（東洋大学）

東京学芸大学	鄧	婉瑩
大学院		
岡山大学大学院	齋藤	圭介
The Open University	Robin A.	Hadley
Indian Institute of Science Education and Research	Dalia	Bhattacharjee

子ども・青年・中高年（2） 日英混成部会

- 1 「生きづらさ」に臨む演劇の社会学
- 2 ひきこもり家族の教育責任をめぐる語り ——問題の認知と「過失」と「援助」の狭間で
- 3 Leisure Activities and Cognitive Health among the Middle-Aged and Older Chinese
- 4 Technology to address isolation and loneliness in later life? A sociological approach
- 5 自閉症概念と当事者の相互作用——当事者の自伝や日誌を媒介にして

教室 3号館4階343
司会者 羽瀧一代(弘前大学)

慶応義塾大学 萩野 亮一
大学院
中央大学 古賀 正義

○University of Florida Min Li
University of Florida Barbara Zsembik
Central Univ. of Cuntong Wang
Finance & Economics
University of Barbara Neves
Melbourne Barbosa
松山大学大学院 渡邊 文春

Session in English

- 1 Social Innovation between Marginality and Affluence
- 2 Land right and food security for sustainability rural Thai farmers
- 3 Comparative Ethical Values in Labor Policies between Thailand, Singapore, Japan and Germany
- 4 Capability Approach and Demands for Individual Privacy
- 5 Power dynamics in environment policy making at local level: A case study on air pollution policy making in Ulaanbaatar, Mongolia
- 6 Living as Japanese in Turkey: Problems and Difficulties A brief case study of Cankiri and Ankara

教室 3号館6階361
司会者 猿谷弘江(上智大学)

Freie Universität Nadine Vogel
Berlin
Chulalongkorn Charoen- Sayamol
University Social ratana
Research Institute
○ Chulalongkorn ANUKUL Chohnapa
University Social
Research Institute
Chulalongkorn Charoen- Sayamol
University Social ratana
Research Institute
Gunma University 岩井 淳
Independent Re- Odonchimeg Tsevegmid
search Institute of
Mongolia
Cankiri Karatekin Taner Sabanci
University

日台学術交流セッション

教室 3号館4階346
司会者 松田ヒロ子(神戸学院大学)
討論者 小ヶ谷千穂(フェリス学院大学)
濱西栄司(ノートルダム清心女子大学)

- | | | | |
|--|----------------------------|-----------|-----------|
| 1 Domestic Workers' Rights and Commercialization of Reproductive Works: History and New Dimension of Migrant Domestic Workers in Japan | Keisen University | Aya | SADAMATSU |
| 2 Negotiating Care Culture and Ethnic Difference: Recruitment of Migrant Care Workers in Japan and Taiwan | National Taiwan University | Pei-Chia | LAN |
| 3 Professionalization of Care Work and its Impact on Migrant Workers: Cases of Filipino Care Workers under the EPA Scheme, 2009-2018 | University of Shizuoka | Sachi | TAKAHATA |
| 4 Formation and Dissolution of Romantic Relationships in Emerging Adulthood: The Effects of School Context | National Taiwan University | Kuo-Hsien | SU |
| 5 From Fukushima to Post-nuclear Energy Politics: Differential Configurations of Anti-Nuclear Movements in Taiwan and South Korea | National Taiwan University | Hwa-Jen | LIU |

倫理委員会企画テーマセッション

「社会学的フィールド調査における研究倫理
——調査対象者(協力者)と調査者の関係性と倫理審査をめぐる諸問題を中心にして」

教室 3号館6階364
司会者 芳賀学(上智大学)
北仲千里(広島大学)

- 1 性風俗産業における当事者参加行動調査と研究倫理
神戸大学 青山 薫
- 2 状況づけられた調査と倫理審査の試練——研究倫理の普遍性とローカル性をめぐる論争過程
大阪市立大学 川野 英二
- 3 意識過剰のハイエナ・コンプレックスと無意識過剰の「上から目線」——調査現場における関係性と倫理審査
同志社大学 佐藤 郁哉

ポスターセッション (9月16日(日) 10時30分～13時00分)

教室 3号館2階324

- | | | | | |
|----|---|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 対抗的ヘゲモニーとしての障害者運動——スウェーデンの障害者運動を事例に | 中部学院大学 | 福地 | 潮人 |
| 2 | 後期青年期女子のファッション選好と異性に対する態度——女子学生を対象とする量的調査より | ○福岡県立大学
北九州市立大学 | 中村
阪井 | 晋介
俊文 |
| 3 | インターンシップに参加する動機に関する研究 | 滋賀大学 | 山下 | 悠 |
| 4 | 初期PC利用者のメディア文化再考——昭和50年代の日米のPC総合雑誌を事例として | 追手門学院大学 | 前田 | 至剛 |
| 5 | 被災地の復興と連携に関する研究——東日本大震災・熊本地震・霧島連山新燃岳噴火を事例として | 大妻女子大学 | 干川 | 剛史 |
| 6 | 国内社会科学系データアーカイブの横断検索に向けての試行と検討 | ○国立情報学研究所
国立情報学研究所
国立情報学研究所
東京大学
立教大学
立教大学
関西学院大学 | 船守
林
加藤
三輪
朝岡
高橋
前田 | 美穂
正治
文彦
哲
誠
かおり
豊 |
| 7 | 離別後の親権についての日台比較研究——東アジアの家族主義福祉国家における共同親権・共同養育についての一考察 | ○熊本学園大学
台湾慈濟大学 | 山西
周 | 裕美
典芳 |
| 8 | 老人クラブの「支え合い」活動に関する研究——活動の現状と新地域支援事業における役割を中心に | 皇学館大学 | 関根 | 薫 |
| 9 | 社会学を専門としない学科でのフィールドワーク教育の効用 | ○大阪医科大学
鳥取短期大学 | 柄澤
渡邊 | 健史
太 |
| 10 | 夫婦の親密性に関する計量分析 | 東京工業大学 | 毛塚 | 和宏 |
| 11 | 計量テキスト分析による感情抽出——国会会議録と感情辞書を用いた分析の課題 | 関西学院大学 | 中野 | 康人 |
| 12 | Procedural preferences between majority and supermajority rules in judgment aggregation | 理化学研究所 | 関口 | 卓也 |
| 13 | 赤ちゃん審査会が果たした役割と変容——児童保護運動が県民運動に変わるまで | 大妻女子大学 | 大出 | 春江 |
| 14 | うつ病・抑うつ状態により休業した人の休業中の過ごし方 | 兵庫医療大学 | 市川 | 由希子 |

台湾社会学会長講演 (9月16日(日)13時20分～14時00分)

教室: 1号館3階131

シンポジウム (9月16日(日)14時00分～17時30分)

シンポジウム(1) 21世紀の日本の姿とその変化——大規模社会調査は何を語るか

教室 1号館3階131

司会者 数土直紀(学習院大学)

轟 亮(金沢大学)

- | | | |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 1 変わる家族／変わらない家族 | 慶應義塾大学 | 稲葉昭英 |
| 2 社会を俯瞰する記述的調査計量に立ち戻る | 大阪大学 | 吉川 徹 |
| 3 SSM調査と政府統計調査からみる戦後日本のかたち：社会階層論的検討 | 東京大学 | 白波瀬佐和子 |
- 討論者：三輪哲(東京大学)、保田時男(関西大学)

シンポジウム(2) 自由と秩序の社会理論

教室 1号館3階132

司会者 浅野智彦(東京学芸大学)

- | | | |
|------------------------------------|------|-------|
| 1 近代秩序における尊厳と公正——平等主義への社会システム理論的接近 | 東洋大学 | 小山 裕 |
| 2 社会的な自由の構想 | 東京大学 | 市野川容孝 |
| 3 社会が変わるには——自由の社会進化論によせて | 熊本大学 | 多田光宏 |
- 討論者：伊藤美登里(大妻女子大学)

シンポジウム(3) イノベーションと医療

教室 1号館3階133

司会者 立石裕二(関西学院大学)

松田美佐(中央大学)

- | | | |
|------------------------------------|---|------|
| 1 外科医療機器(手術用硬性内視鏡と手術用デジタル顕微鏡)の最新状況 | ソニー・オリンパス
スメディカルソリ
ューションズ
株式会社 | 横井靖裕 |
| 2 医療組織における働き方と人間関係にもたらされるもの | 千葉経済大学 | 佐藤典子 |
| 3 ヒト・モノの新たな連結——フェティシズムの思想史 | 西南学院大学 | 北垣 徹 |
| 4 医療における視覚技術と社会 | 大阪大学 | 山中浩司 |
- 討論者：進藤雄三(大阪市立大学)